

仙台環境開発(株)は現在 1500 t /日受入、その 7 割は首都圏からのもの。残容量は 80 万 m³。このままでは 2~3 年で完了してしまう。受入では計量と併せ放射線測定を実施、0.4 μSv/h 以下のもの受入。管轄の仙台市と宮城県の行政間の調整がとれないことから今のところ震災がれきは仙台市から石膏ボード 200 t /日のみ。

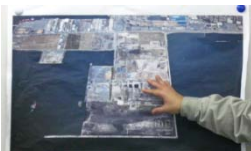


仙台市では蒲生・荒浜・井土の 3 か所に破砕機と焼却炉をメーカーが建設設置し処理。混廃の選別、置き場管理は地元処理業者が共同体で受注。がれきは品目別選別され堆積。そのうちスクラップ・木くず・コンガラは入札により引取りが決まった。今夏にはほぼ終了の見通し。その後は近隣行政区のがれき受入を検討中。

石巻ブロックはゼネコン JV に一括発注している。70 万 t のがれきをフレコン



に詰めて堆積することで、スペースを確保し、プラント建設を開始。1号焼却炉は5月に稼働予定。焼却炉は動き出すが、焼却灰の行き先が決まっていない。仙台環境開発(株)への受入は仙台市が了解していない。



カーボンオフセット完了のお知らせ

共同購買でのカーボンオフセットの手続きを完了し、国の削減目標に寄与しました。参加会社名は(株)IWD、(株)エコ・ファクトリー、(株)エコワスプラント、(株)川上商店、(株)昇鋭、コトブキ環境(株)、事務局です。詳細については各社ホームページで確認してください。

お知らせ

- ・ 3月22日(木)18:00より組合営業マン懇親会(ボーリング大会)が催されます。参加申し込みお済みでない方、迷われている方、詳しくは事務局までお問い合わせください。
- ・ 4月26日(木)に日本教育会館にて、基礎講習会を行うことが決まりました。詳細が決まり次第お知らせいたしますので、ふるってご参加ください。
- ・ 産廃振興財団では、中小の建設業者向けの廃棄物処理、汚染土壌処理に関する説明会を今後月1回のペースで実施していきます。処理施設にポスターを掲示するなど、このような機会に恵まれない中小建設業者の顧客にPRをお願いします。<http://www.sanpainet.or.jp/business07/index3.html>

※建廃協では、NEWSに載せてほしい事柄、また載りたい方も募集中です。どんなことでもかまいません。

感想などもぜひこちら→ jimukyoku@kenpaikyo.or.jp まで。